

光科学異分野横断萌芽研究会の趣旨

遠藤 達郎¹, 冬木 正紀², 鹿野 豊³

1. 大阪府立大学 工学研究科
2. 畿央大学 教育学習基盤センター
3. 東京大学 先端科学技術研究センター

e-mail : endo <at mark> chem.osakafu-u.ac.jp

我々はこれまで、光物性物理、光化学、生命科学、分析化学などの分野における「光」と関連した若手研究者(講師、助教、PD、博士後期課程の大学院生等)を主体に、関東・関西圏を中心とした光科学若手研究会を年2回のペースで開催しておりました[1,2]。このような趣旨のコミュニティは様々な研究分野や地域の組み合わせで数多く存在しておりますが、本研究会は普段は顔を合わせる機会が少ない異分野の中堅・若手の研究者が親睦を深め、連携を強めることで光科学のブレークスルーを目指すものです。特に、10年先の光科学の新規研究領域開拓のための基礎構築に繋がるボトムアップ的な活動と位置づけて企画をいたしました。

【参考文献】

- [1] 遠藤達郎、光科学若手研究会会議録、Vol.1, pp.9999 (2016).
- [2] 冬木正紀、テラヘルツ領域の光物性、Vol.1, pp.9999 (2016)